

# アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 1-(1)-(ア)	具体的な取組	防災マップを作り、災害に備えよう！	担当課	地域起こし推進課
-------------------	--------	-------------------	-----	----------

**まちづくりのテーマ及び項目**

- 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり
  - (1) 土砂災害等に対する備え

**事業目的・内容**

居住する地区における土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、洪水や高潮による浸水想定区域、避難経路及び避難場所を正しく理解し、災害時に的確な避難行動を行えるよう、地域独自の情報を掲載した防災マップの作成を支援する。

**○課題と対応**

平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。

**○指標**

防災マップを作成した町内会数

**○目標値**

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	139 町内会 /196 町内会	155 町内会 /196 町内会	178 町内会 /196 町内会	196 町内会 /196 町内会	更新	更新	更新

**○目標値の考え方**

2019年度末までに、全小学校区で学区全体の防災マップを作成し、さらに196町内会中121の町内会の防災マップを作成する予定としている。今後は、未作成である75町内会のうち、現在作成に向けて取り組んでいる18町内会については2020年度末までの作成を目標とし、それ以外の57町内会については、5年ごとに行われる土砂災害警戒区域等の更新の時期（2021～2023年度で実施予定）に合わせた作成を目標とする。

**今後の取組(具体的な役割)**

【地域等】町内会（自主防災組織）

- ・防災マップの作成（まち歩き、マップデータ編集）
- ・小中学校での防災マップに関する研修

【区】地域起こし推進課

- ・地域の防災マップ作成支援（勉強会の開催、アドバイザーの派遣、マップ印刷）

**備考**

防災マップ作成のための勉強会



防災マップ《参考》



# アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 1-(1)-(イ)	具体的な取組	「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	担当課	地域起こし推進課
-------------------	--------	--------------------------------	-----	----------

まちづくりのテーマ及び項目

- 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり
  - (1) 土砂災害等に対する備え

事業目的・内容

「自分の命は自分で守る」という自助の意識向上を図るとともに、「共助」の重要性を理解することを目的とし、学区自主防災会連合会、消防団及び区役所等が連携し、住民が災害から身を守るための行動や、自主防災組織等が指定避難所で取るべき行動の確認を行う防災訓練を実施する。

○課題と対応

平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。

○指標

防災訓練を実施した地区数

○目標値

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	4地区/年	4地区/年	4地区/年	4地区/年	4地区/年	4地区/年	4地区/年

○目標値の考え方

毎年、「二葉」「福木・温品」「戸坂」「牛田・早稲田」の4つのエリアのうち、1地区で訓練を実施している。今後も、同様な形で訓練を継続する。

今後の取組(具体的な役割)

<p>【地域等】学区自主防災会連合会、町内会(自主防災組織)、消防団</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の企画・立案</li> <li>・地域住民への参加の呼びかけ</li> <li>・地域の実情に応じた避難マニュアル整備</li> </ul>	<p>【区】地域起こし推進課、東消防署</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施支援</li> <li>・医師会、地域包括支援センターなどの参加団体との連絡調整</li> <li>・訓練で使用する物品の購入等に伴う補助金の交付</li> </ul>
---	---

備考

指定避難所での防災訓練



炊き出し訓練



# アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 1-(2) 2-(4)-(エ)	具体的な取組	要支援者を地域で支えよう！	担当課	地域起こし推進課 地域支えあい課
----------------------------	--------	---------------	-----	---------------------

**まちづくりのテーマ及び項目**

- 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり
- (2) 避難行動要支援者への支援

**事業目的・内容**

災害時に一人で避難することが困難な方（避難行動要支援者）が、安全かつ確実に避難することを目的とし、町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、学区自主防災会連合会へ対象者の名簿を提供し、対象者一人ひとりについて避難に必要な具体的な事項を整理した計画（個別計画）を作成できるよう支援を行っている。

**○課題と対応**

要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。

**○指標**

対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別計画を作成した地区数

**○目標値**

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	6 /13地区	8 /13地区	10 /13地区	12 /13地区	13 /13地区	更新	更新

**○目標値の考え方**

2019年度までに4地区（東浄・上温品・温品・福田）で作成している。2020年度の名簿提供時から、作成した個別計画数を報告していただくこととし、1年度あたり2地区（2024年度は1地区）での作成を目標とする。

**今後の取組(具体的な役割)**

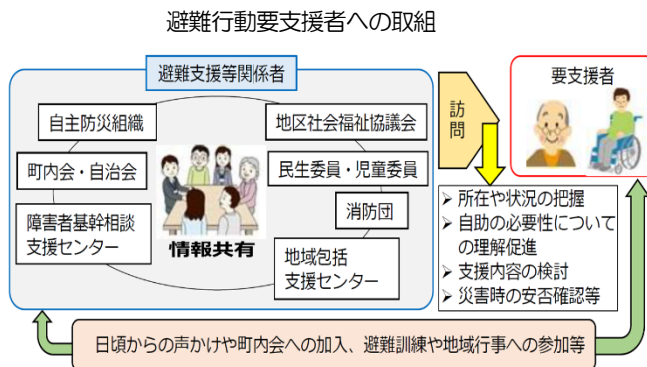
【地域等】町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、学区自主防災会連合会

【区】地域起こし推進課、地域支えあい課

- ・対象者の個別訪問、状況把握及び個別計画の作成
- ・個別計画作成数の報告

- ・要支援者名簿を地域団体へ提供
- ・個別計画作成に係る連絡・調整、個別訪問への同行

**備考**





住所	携帯電話
町内会名・組名	固定電話
普段いる部屋	例 例 例 例 例 例
避難所などで気をつけてほしいこと	
かかりつけ医療機関 (電話)	
服用している薬 必要な医療処置 <small>※処方薬名、人工呼吸器等 等</small>	
利用中の介護保険・障害福祉サービス	
その他特記事項	
緊急連絡先 (名前)	(住所・電話番号)



<支援をお願いできる人や団体> 【家族、友人、近隣の人、介護保険・障害福祉サービス事業者等】

名前	電話	住所	支援内容	関係

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 1-(3)-(ア)	具体的 な取組	次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化							
事業目的・内容 各種地域団体が抱えている、役員の高齢化や担い手不足など、地域コミュニティの活力低下が顕在化しているため、その課題解決に向けて、令和2年度から年1回「地域コミュニティの活性化」をテーマとした講演会を開催する。							
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。							
○指標 講演会の参加者数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の 目標値	500人	500人	500人	500人	500人	500人	500人
○目標値の考え方 東区民文化センター大ホールで講演会を実施する想定として、毎年度500人の参加を目標とする。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】町内会、地区社会福祉協議会、PTA、コミュニティ交流協議会等			【区】地域起こし推進課				
・講演会への参加呼びかけ			・講演会の開催				
備考 講演会開催の場の候補となり得る東区の集会例  東区コミュニティ交流協議会東区民大会（東区民文化センター）							
							



## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 1-(3)-(イ)	具体的な取組	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金	担当課	地域起こし推進課				
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化								
事業目的・内容 平成 27 年度から住宅団地の活性化を目的に制度が創設され、平成 29 年度からは全市域に対象エリアを拡大し、町内会、地区社会福祉協議会、子ども会が新たに行う地域コミュニティの活性化のための主体的・継続的な取組に補助金を交付している。								
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。								
○指標 新規申請件数								
○目標値								
	年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
	年度毎の 目標値	2 件以上 /年	2 件以上 /年	2 件以上 /年	2 件以上 /年	2 件以上 /年	2 件以上 /年	2 件以上 /年
○目標値の考え方 2019 年度までの過去5年間の新規申請件数の平均が 2 件であるため、毎年度 2 件以上を目標とする。								
今後の取組(具体的な役割)								
【地域等】町内会、地区社会福祉協議会、子ども会		【区】地域起こし推進課						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活性化のための新たな取組の検討・実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の交付</li> <li>・申請手続きの支援</li> <li>・新たな取組に対する相談・助言</li> <li>・制度の周知を図るための新たな広報手段の検討</li> </ul>						
備考								
補助金を活用した取組								
中山カルタの制作		早稲田学区での防災プラン作成						
								



## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 1-(4)-(ア)	具体的な取組	地域の安全は地域で守ろう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり							
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援するため、平成 26 年度から町内会が道路等の公共空間に防犯カメラの設置する場合、補助金を交付している。							
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。							
○指標 防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	5台以上 /年	5台以上 /年	5台以上 /年	5台以上 /年	5台以上 /年	5台以上 /年	5台以上 /年
○目標値の考え方 2014 年度からの 6 年間における設置台数の平均が約 5 台/年であることから、年間 5 台以上の設置を目標とする。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】町内会			【区】地域起こし推進課				
・カメラ設置場所の検討・設置			<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラ設置補助申請等に係る支援</li> <li>・防犯カメラ設置に係る補助金の交付</li> </ul>				
備考							
防犯カメラ		防犯カメラの画像					
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)


項目番号 1-(4)-(イ)	具体的な取組	防犯灯でまちを明るくしよう！	担当課	維持管理課			
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり							
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりを進めるため、犯罪の抑止力になる防犯灯を区役所が設置するほか、町内会が独自に設置する場合についても、昭和37年度から補助金を交付している。							
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。							
○指標 防犯灯の新規設置か所数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	20か所/年	20か所/年	20か所/年	20か所/年	20か所/年	20か所/年	20か所/年
○目標値の考え方 過去3年間の平均で、区役所が新規設置する防犯灯が15か所、町内会が市からの補助を受けて新規設置する防犯灯が5か所のため、毎年度20か所の新規設置を目標に取り組む。							
今後の取組<具体的な役割>							
【地域等】町内会			【区】維持管理課				
・防犯灯の設置			・防犯灯の設置 ・防犯灯設置に係る補助金の交付				
備考							
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>電柱添架</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>単独柱</p>  </div> </div>							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 1-(5)	具体的な取組	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (5) 交通事故のない安全なまちづくり							
事業目的・内容 交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図るため、交通安全運動推進隊、警友会広島東支部、交通安全協会、学校、警察等と連携して、年間に交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催し、事故のない安全なまちづくりを推進する。							
○課題と対応 交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。							
○指標 交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年
○目標値の考え方 年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催していることから、年間6回以上の開催数とする							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】交通安全運動推進隊、警友会広島東支部、交通安全協会、区内の小中高等学校			【区】地域起こし推進課 東警察署				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全街頭キャンペーンの開催</li> <li>・小中高等学校での自転車交通マナー教室の開催</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全街頭キャンペーンの開催</li> <li>・自転車交通マナー教室の開催支援</li> </ul>				
備考							
交通安全街頭キャンペーン			自転車交通マナー教室				
							



## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(1)-(ア)	具体的 な取組	認知症サポーターになろう！	担当課	地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応							
事業目的・内容 認知症に関する正しい知識を有し、認知症の人やその家族のよき理解者となる認知症サポーターを増やし、認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるため、平成18年度から、区民や地域団体・事業所等を対象とし、地域住民の要請等に基づき、地域包括支援センター等が企画して、認知症サポーター養成講座を開催している。 これに加え、東区では、若い世代から認知症を知り理解を深めることが重要であるため、小中高等学校の児童生徒や大学生を対象とした講座を年1回、各学校において開催している。							
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。							
○指標 認知症サポーター養成講座の実施校数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の 目標値	小学校 12/12、 中学校6/6 高等学校5/5、 大学2/2	小学校 12/12、 中学校6/6 高等学校5/5、 大学2/2	小学校 12/12、 中学校6/6 高等学校5/5、 大学2/2	小学校 12/12、 中学校6/6 高等学校5/5、 大学2/2	小学校 12/12、 中学校6/6 高等学校5/5、 大学2/2	小学校 12/12、 中学校6/6 高等学校5/5、 大学2/2	小学校 12/12、 中学校6/6 高等学校5/5、 大学2/2
○目標値の考え方 2019年度の実績として小学校1校、私学の中高一貫校1校が未実施のため、2020年度までに小中高全ての学校での実施を目標とする。その後も全ての小中高の学校での実施を継続するとともに、特別支援校等の実施を検討する。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】区内の小中高等学校、大学、地域住民・団体、事業所等、各地域包括支援センター			【区】地域支えあい課				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域包括支援センター等が認知症サポーター養成講座を開催</li> <li>・認知症サポーター養成講座への参加呼びかけ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の小中高等学校、大学での開催支援</li> <li>・地域の学校、事業者、団体等への広報</li> <li>・認知症支えあいカフェやボランティア活動とのマッチング</li> </ul>				
備考	大学での講座			小学校での講座(寸劇)			
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(1)-(イ)	具体的 な取組	認知症支えあいカフェを広めよう！	担当課	地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応							
事業目的・内容 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、平成 26 年度より認知症の人とその家族、地域団体、医師・社会福祉士・保健師等が、概ね月 1 回程度、地域の集会所や病院などで気軽に集い、交流を図る認知症支えあいカフェを開催し、専門職による相談・助言により、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進める。							
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。							
○指標 認知症支えあいカフェの設置地区数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の 目標値	9/13 地区	10/13 地区	11/13 地区	12/13 地区	13/13 地区	13/13 地区	13/13 地区
○目標値の考え方 2019年度実績が8地区社協エリアであったため、2020年度目標を9地区とし、2024年度までに全地区設置とする。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、各地域包括支援センター等		【区】地域支えあい課					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体や病院等法人による認知症支えあいカフェの設置</li> <li>・認知症支えあいカフェの運営（地域団体等が設置した場合）</li> <li>・認知症支えあいカフェの運営協力（病院等の法人が設置した場合）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症支えあいカフェの設置、運営、内容の充実に向けた助言</li> <li>・認知症支えあいカフェへの参加・運営協力の呼びかけ</li> </ul>					
備考							
認知症支えあいカフェ							
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(2)	具体的な取組	いきいき百歳体操に取り組もう！	担当課	地域支えあい課
---------------	--------	-----------------	-----	---------

まちづくりのテーマ及び項目

- 2 みんなで支え合うまちづくり
- (2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進

事業目的・内容

誰もが介護予防に取り組むことのできる地域づくりを進めるため、高齢者が気軽に通える身近な地域の集会所等で、いきいき百歳体操等を行う「介護予防拠点」を平成 29 年度から整備している。

○課題と対応

介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。

○指標

拠点数と参加者数

○目標値

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の 目標値	99 拠点 1,980 人	110 拠点 2,204 人	121 拠点 2,428 人	132 拠点 2,652 人	143 拠点 2,876 人	155 拠点 3,100 人	次期プランに 併せて作成

○目標値の考え方

広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方(2025 年度までに高齢者の 1 割が参加)を踏まえ、2025 年度の東区の高齢者人口約 31,000 人のうち、1 割の 3,100 人の参加を目標とし、拠点数については、1 拠点あたりの参加者数を 20 人として設定している。

なお、2026 年度以降については、次期プランに併せて作成する。

今後の取組(具体的な役割)

【地域等】地域の高齢者グループ、町内会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、各地域包括支援センター等

【区】地域支えあい課

- ・新たな介護予防拠点の立ち上げ
- ・介護予防拠点での、いきいき百歳体操の運営と参加

- ・理学療法士や作業療法士等のリハビリテーション専門職の派遣調整
- ・介護予防拠点の整備・運営に関する助言

備考



DVDを利用したいきいき百歳体操



## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(3)	具体的 な取組	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	担当課	地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (3) 地域ぐるみの子育て支援							
事業目的・内容 子育て中の親子が地域で孤立しないよう、子育て支援ボランティアや民生委員児童委員が中心となり、月に1回程度、公民館や集会所等で子育て親子が気軽に集い交流できる地域子育てオープンスペースを開催している。							
○課題と対応 子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施個所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。							
○指標 地域の子育てオープンスペースの参加者数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の 目標値	2,900人	2,950人	3,000人	3,050人	3,100人	3,150人	3,400人
○目標値の考え方 2018年度の参加者が2,712人(16か所)であったため、2020年度目標を2,900人とし、毎年度50人増やすこととする。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】町内会、民生委員児童委員協議会、ボランティア		【区】地域支えあい課					
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育てオープンスペースの開催</li> <li>• 子育て世帯へ参加の呼びかけ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保健師、子育て支援専門員(保育士)による子育てオープンスペースの運営の支援、新規立ち上げ支援</li> <li>• 子育てオープンスペースの保険等の費用負担</li> </ul>					
備考							
子育てボランティア「子育て応援隊 ねこの手」		地域の子育てオープンスペース					
							

# アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(4)-(ア)	具体的な取組	「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	担当課	地域支えあい課
-------------------	--------	--------------------------	-----	---------

まちづくりのテーマ及び項目  
 2 みんなで支え合うまちづくり  
 (4) 地域共生社会の実現に向けた取組

**事業目的・内容**  
 高齢者、子ども、障害者などすべての人々が「住みなれた地域で安心して暮らすことができる」地域共生社会の実現を目指し、平成31年4月に「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」を設置し、その取組の一環として、地域団体の活動をまとめた「東区地域支えあいリスト」を作成した。  
 子育て中の親子や高齢者、障害児・者が地域で通える場所やボランティアバンク等の生活支援の情報を、日常生活圏域（中学校区）ごとにマップとリストで掲載している。

**○課題と対応**  
 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。

**○指標**  
 地域支えあいリストの掲載件数

**○目標値**

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	313件	325件	337件	349件	361件	374件	2025年度に作成

**○目標値の考え方**  
 2019年度の掲載件数の296件をベースにして、今後いきいき百歳体操と認知症支えあいカフェの実施団体の増加を年12件~17件見込んでいる。  
 なお、2026年度以降については、2025年度に作成する。

<p><b>今後の取組(具体的な役割)</b></p> <p>【地域等】町内会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア、各地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議への参加</li> <li>・子ども、高齢者、障害者の通いの場の設置、運営</li> <li>・生活支援サービスの提供</li> <li>・ボランティアバンクの運営</li> <li>・地域住民への情報提供</li> </ul>	<p>【区】地域支えあい課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議の開催</li> <li>・地域支えあいリストの作成、更新</li> <li>・ホームページの掲載等による情報発信</li> <li>・団体間の協働した活動への支援</li> </ul>
--	--

**備考**



「東区地域支えあいリスト」の掲載事項

③ 高齢者の通いの場(いきいき百歳体操等介護防拠点)(戸坂圏域)						
名称	場所	所在地	活動日時	活動内容	料金	連絡先
いきいき百歳体操 in そうだ	惣田集会所	広島市東区戸坂千足二丁目1-6	毎週水曜日 10:00~11:00	いきいき百歳体操、かみかみ体操、ラジオ体操、茶話会2回/年	100円/月	広島市戸坂地域包括支援センター
いきいき百歳体操 in 戸坂第2coopマンション	戸坂第2COOPマンション集会所	広島市東区戸坂山根二丁目2-30	毎週木曜日 10:30~11:30	いきいき百歳体操、ラジオ体操	200円/月	広島市戸坂地域包括支援センター
スマイルクラブ	ENEOS戸坂サービスステーション	広島市東区戸坂中町2-28	毎週土曜日 13:30~16:00	いきいき百歳体操、かみかみ体操、健康運動療法士1回/月	100円/月	広島市戸坂地域包括支援センター
かわねいきいき体操	川根集会所	広島市東区戸坂山根一丁目3-5	毎週火曜日 10:00~11:00	いきいき百歳体操、かみかみ・しゃきしゃき体操 最終開催日茶話会	100円/月	広島市戸坂地域包括支援センター

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(4)-(イ)	具体的な取組	医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	担当課	地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組							
事業目的・内容 誰もが、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるためには、医療・介護ネットワーク（医療介護関係者）と介護予防・生活支援ネットワーク（地域団体）の有機的な連携を進める必要がある。このため、「認知症支えあいカフェ」への医療介護関係者による支援や、地域団体の研修会等への医療介護関係者による講師派遣等を行う。							
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。							
○指標 医療介護関係者と地域団体が連携した地区数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	2/13 地区	4/13 地区	6/13 地区	8/13 地区	10/13 地区	13/13 地区	13/13 地区
○目標値の考え方 2020年度から2地区社協エリアで開始し、毎年度2地区増やし、2025年度13地区全ての地区で実施することとする。							
今後の取組<具体的な役割>							
【地域等】社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、各地域包括支援センター等			【区】地域支えあい課				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会や歯科医師会等の医療介護関係者への依頼</li> <li>・認知症支えあいカフェや研修会等の企画・運営</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体との調整</li> </ul>				
備考							
認知症支えあいカフェ立ち上げ支援のための研修会（医師による講座）							
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(4)-(ウ)	具体的な取組	地域共生社会の実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう！	担当課	地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組							
事業目的・内容 公民館や集会所等で、子ども、高齢者、障害者などを対象とした多世代交流の場を設置し、茶話会や季節の行事等を定期的で開催することで、協働による相乗効果や新たな担い手の発掘など、効率的な取組に発展させる。							
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。							
○指標 多世代交流の場の開催地区数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	4/13 地区	6/13 地区	8/13 地区	10/13 地区	12/13 地区	13/13 地区	13/13 地区
○目標値の考え方 2018年は1地区（戸坂地区）の地区社協のエリアで開催しており、2019年までは年1地区（尾長地区）ずつ、2020年からは年2地区ずつ増やし、2025年度には13か所全ての地区で開催することとする。							
今後の取組具体的な役割							
【地域等】町内会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア	【区】地域支えあい課						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流の場の開設に当たっての協議・検討</li> <li>・多世代交流の場の運営</li> <li>・いきいき百歳体操の参加者や子育てオープンスペースの参加者への参加の呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流の場の開設支援</li> <li>・PRチラシの作成等</li> </ul>						
備考							
子育て親子と高齢者との交流		高齢者の通い場で障害者との交流					
							

# アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(5)-(ア)	具体的な取組	元気じゃ健診を受けよう！	担当課	地域支えあい課
-------------------	--------	--------------	-----	---------

まちづくりの方向性及び項目  
 2 みんなで支え合うまちづくり  
 (5) 地域で取り組む生活習慣病予防

**事業目的・内容**

区民の健康の保持増進、健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の早期発見等を目的に、元気じゃ健診（40歳～74歳の方；特定健康診査、75歳の方；健康診査）を実施しているが、受診者が少ない。このため、平成31年度から社会福祉協議会と連携し、「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、地域ぐるみで住民同士が呼び掛け合って健診受診ができるよう、モデル地区を定めて巡回健診のPRチラシ作成・配布をする等、受診率向上に向けた取組を行っている。

**〇課題と対応**

平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。

**〇指標**

特定健康診査受診率

**〇目標値**

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	35%	40%	45%	50%	55%	60%	85%

**〇目標値の考え方**

目標値は、「広島市国民健康保険特定健康診査等実施計画【第3期：2018年度～2023年度】」の2023年度の目標値50%を基に設定している。

<参考>平成30年度特定健康診査受診率（令和元年7月末時点暫定値）：広島市25.2%、東区24.7%>

**今後の取組(具体的な役割)**

【地域等】社会福祉協議会、東区公衆衛生推進協議会、民生委員児童委員協議会

【区】地域支えあい課

- ・地域団体を通じて地域住民への巡回健診日の広報
- ・地域の身近な方への受診呼び掛け

- ・巡回健診日の広報
- ・地区担当保健師による生活習慣病及びフレイル予防に関する健康教室の開催
- ・元気じゃけん食堂での健診のPR

**備考**

元気じゃけん食堂での健診PR



配布チラシ（馬木地区）

馬木にお住まいのみの方へ 2019年版

自分の健康は自分で守る！

<巡回健診日程>

日 時	巡回健診	対象年齢
8/30 (金) 9:30~11:30	健康診査(元気じゃ健診) 診がん・大腸がん	40歳以上 (1年検1回)
11/5 (水) 9:00~11:30	健康診査(元気じゃ健診) 診がん・大腸がん 胃がん(X線検査)	40歳以上 (1年検1回)
	乳がん	40歳以上 (2年検1回)
	子宮頸がん	20歳以上 (2年検1回)

◎巡回 巡回健診日(令和元年9月20日(祝))  
 巡回健診予約ダイヤル ☎(082)504-2228  
 予約受付時間：毎日、受付時間9:30~16:30

◎会場 虹の星みれあいセンター (馬木二丁目5-4B-1) ※駐車場30台

◎健診会場に持っていくもの  
 ◎受診券 (※受診券、お持ちの方は4枚に貼付して持参)  
 ◎健康保険証 ◎保険 (大腸がん検診は保険適用外)


◎自己負担額  
 ・健康診査(元気じゃ健診)：受診券を所持するのは無料  
 ・がん検診：健康診査を所持するので、70歳以上の方は無料  
 (70歳未満の方は下部の負担額を参考にしてください)

検診項目	検診料	がん検診	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
健康診査	1,100円				1,500円
がん検診(受診券)	2,500円	1,500円	400円	400円	1,500円
健康診査	3,300円	2,200円			1,600円


※がん検診(健康診査を所持しない方)は、検診料を別途お支払いください。  
 ※健康診査(受診券)を所持しない方は、検診料を別途お支払いください。  
 ※がん検診(健康診査を所持しない方)は、検診料を別途お支払いください。  
 ※健康診査(受診券)を所持しない方は、検診料を別途お支払いください。



## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(5)-(イ)	具体的な取組	野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	担当課	地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防							
事業目的・内容 住民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、野菜摂取の大切さ、栄養バランスを意識した食事について理解を深めることを目的として、健康教室の開催、個別相談等を行っている。平成 26 年度からは区役所食堂において、健康に関する情報の発信、健康相談（月 1 回）、「元気じゃけん定食」の提供支援（月 2 回）等を通じた啓発を行っている。							
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。							
○指標 地元野菜を活用したレシピの数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	2 品/年	2 品/年	2 品/年	2 品/年	2 品/年	2 品/年	2 品/年
○目標値の考え方 すこやか食生活推進リーダー※1 及び食生活改善推進員※2 と連携し、毎年、夏野菜と冬野菜を使ったレシピを 1 品ずつ計 2 品を開発する。 ※1 地域で健康増進・栄養改善活動を行う本市登録の管理栄養士又は栄養士 ※2 本市実施の食生活改善推進員養成講座を修了し登録したボランティア							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】すこやか食生活推進リーダー、食生活改善推進員			【区】地域支えあい課				
・地元野菜を活用したレシピの開発・活用			・地元野菜を活用したレシピの開発支援 ・広報活動（健康教室等で紹介、区役所食堂でのレシピ配布、ホームページへの掲載）				
備考 区役所食堂内情報提供コーナー							
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 2-(5)-(ウ)	具体的な取組	東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！	担当課	地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防							
事業目的・内容 区民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、健康ウォーキングに取り組むきっかけづくりを目的に、平成18年度から各地区公民館等で健康ウォーキング教室を開催し、ウォーキングの普及啓発に取り組んでいる。平成19年度からは、年1回各地区のウォーキングコースを活用した「健康ウォーキングのつどい」を公衆衛生推進協議会及び、東区スポーツセンターと共催で実施している。							
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。							
○指標 「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	10%以上	10%以上	15%以上	15%以上	15%以上	20%以上	20%以上
○目標値の考え方 2018年度、2019年度の60歳未満参加者割合（アンケート回答者より算出）は、それぞれ3%、6%であった。2020年度は、10%以上、2022年度は15%以上、2025年度は20%以上とする。							
今後の取組<具体的な役割>							
【地域等】東区公衆衛生推進協議会、健康ウォーキング推進者		【区】地域支えあい課、公民館、東区スポーツセンター					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康ウォーキングのつどいの運営支援</li> <li>・ウォーキングマップの活用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康ウォーキングのつどいの企画、開催</li> <li>・公民館等との共催による健康ウォーキング教室の開催</li> <li>・健康ウォーキング推進者の育成支援</li> </ul>					
備考							
健康ウォーキングのつどい							
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(1)-(ア) 4-(1)-(ウ)	具体的な 取組	「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課																
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																				
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道（不動院～二葉の里～矢賀一里塚。昭和 58 年指定）は、国宝「不動院金堂」をはじめ、重要文化財等が集積した歴史文化的価値の高い散歩道である。平成 21 年 3 月から、散歩道を活用して東区の魅力発信を図る目的で、「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協働し、「ふたばの日」（毎月 28 日）に定期ガイド等を実施している。																				
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																				
○指標 年間参加者数																				
○目標値																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">年度</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> <td>2024</td> <td>2025</td> <td>2030</td> </tr> <tr> <td>年度毎の目標値</td> <td>830 人</td> <td>838 人</td> <td>847 人</td> <td>855 人</td> <td>863 人</td> <td>871 人</td> <td>911 人</td> </tr> </table>	年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030	年度毎の目標値	830 人	838 人	847 人	855 人	863 人	871 人	911 人				
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030													
年度毎の目標値	830 人	838 人	847 人	855 人	863 人	871 人	911 人													
○目標値の考え方 2018 年度実績が 815 人であったため、2020 年度目標を 830 人とし、季節ごとに開催を予定している特別ガイド等の内容充実と、幅広い世代へ届けるための広報手段の工夫により、毎年度 1% ずつ参加者を増やす。																				
今後の取組〈具体的な役割〉																				
【地域等】二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会		【区】地域起こし推進課																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季折々の新コースなどガイドツアーの企画</li> <li>・「定期ガイド」「特別コース」のガイドツアー実施</li> <li>・ガイドスキルアップ研修の実施</li> <li>・新規ボランティアガイドの勧誘と確保方策の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドツアーの実施補助</li> <li>・新たな広報手段の検討</li> </ul>																		
備考																				
ガイドツアー（広島東照宮）	ガイドツアー（饒津神社）	ガイドツアー（安楽寺）																		
																				

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(1)-(イ) 4-(1)-(エ)	具体的 な取組	「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課																
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																				
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道沿いにある神社仏閣の石灯籠や参道に「平和の灯」から採火した約千本のろうそくを灯し、平和の夕べを開催することにより、原爆によって亡くなられた人々の霊を慰め世界平和を祈念するとともに、エキキタをアピールするため、平成 24 年度から、七社寺、ボランティアガイドの会、町内会、関係団体及び区役所で組織する実行委員会が中心となり、毎年 8 月 5 日に実施している。																				
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																				
○指標 イベントの来訪者数																				
○目標値																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">年度</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> <td>2024</td> <td>2025</td> <td>2030</td> </tr> <tr> <td>年度毎の目標値</td> <td>2,000 人</td> <td>2,050 人</td> <td>2,100 人</td> <td>2,150 人</td> <td>2,200 人</td> <td>2,250 人</td> <td>2,500 人</td> </tr> </table>	年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030	年度毎の目標値	2,000 人	2,050 人	2,100 人	2,150 人	2,200 人	2,250 人	2,500 人				
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030													
年度毎の目標値	2,000 人	2,050 人	2,100 人	2,150 人	2,200 人	2,250 人	2,500 人													
○目標値の考え方 2019 年度実績が 1900 人であったため、2020 年度目標を 2,000 人とし、毎年度 50 人増やすこととする。																				
今後の取組＜具体的な役割＞																				
【地域等】七社寺、ボランティアガイドの会、町内会、エキキタまちづくり会議等		【区】地域起こし推進課																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の夜、祈りと平和の夕べイベントの企画・実施</li> <li>・来訪者を増やすための方策について検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者を増やすための方策について検討</li> <li>・学校や各種団体・企業等との連携方策の検討</li> <li>・自転車等移動手段の確保の検討</li> <li>・飲食料の販売の検討</li> </ul>																		
備考																				
<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">広島東照宮</div>  </div>		<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">明星院</div>  </div>																		
<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">虚無僧による尺八演奏（聖光寺）</div>  </div>																				

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(2)-(ア)	具体的な取組	自然観察の楽しさを広めよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進							
事業目的・内容 東区の自然に恵まれた特性や地域資源を生かし、緑や水に親しむ機会を創出することを目的として、平成12年5月から「東区緑のボランティアの会」と区役所が協働し、東区の豊かな自然とふれあう自然観察会を実施している。							
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。							
○指標 年間参加者数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	200人	210人	220人	230人	240人	250人	250人
○目標値の考え方 2018・2019年度は災害等により一部の観察会が中止となったため、2017年度の実績である5回198人(1回あたり平均約40人)を基準とし、1回あたり50人、5回で250人を目標とする。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】東区緑のボランティアの会			【区】地域起こし推進課				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察会の企画・実施</li> <li>・会の活動のPR</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の申込受付</li> <li>・広報活動</li> <li>・新たな広報手段の検討</li> </ul>				
備考							
春の自然観察会 (広島市森林公園)			シリブカガシのワークショップ				
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(2)-(イ)	具体的な取組	都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進							
事業目的・内容 都心近くには珍しい、複数の山を縦走することができる全長約5kmの牛田山ハイキングコースの認知度を高め、その利用者数を増やすことを目的に、平成 25 年度から毎年 11 月に、地元の学区体協と区役所、公民館、スポーツセンターが協働して「牛田山ぐるっとハイキング」を開催し、ハイキングコースの魅力を区内外に広くアピールしている。							
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。							
○指標 牛田山ハイキング参加者数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	180人	184人	188人	192人	196人	200人	200人
○目標値の考え方 2019 年度は、悪天候のため参加者数が 123 人ととどまったため、2018 年度実績である 177 人を基準とし、運営スタッフの人数に制限もあることから、最大 200 人を目標値として設定する。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】地元の学区体協、ボランティア団体			【区】地域起こし推進課、公民館、東区スポーツセンター				
・牛田山ハイキングの企画・実施			・牛田山ハイキングの企画・実施 ・広報手段の検討				
備考							
「牛田山ぐるっとハイキング」			自然観察をしながらハイキングを楽しむ参加者				
							

# アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(2)-(ウ)	具体的な取組	地域主催のハイキングイベントを増やそう！	担当課	地域起こし推進課
-------------------	--------	----------------------	-----	----------

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
- (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進

事業目的・内容

東区には、都心の近くで自然に親しむことのできるハイキングコースが多数存在する。これらのハイキングコースの利用を促進し、自然とのふれあいの機会を創出することを目的として、令和2年度から新たに地域主催のハイキングイベントの実施を支援する。

○課題と対応

都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。

○指標

ハイキングイベントの新規実施件数

○目標値

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	1件/年	1件/年	1件/年	—	—	—	累計3件

○目標値の考え方

2019年度は、上温品学区体育協会が町民ハイキングを、福田公民館と馬木公民館、戸坂公民館が地域団体と連携してハイキングイベントを実施している。2020年度からも、学区体育協会や公民館等との連携を図りながら、尾長山・大内越山・高尾山の3つの山で、新たにハイキングイベントを実施する。

今後の取組(具体的な役割)

【地域等】学区体育協会等

【区】地域起こし推進課、公民館、東区スポーツセンター

・ハイキングイベントの企画・実施

- ・学区体育協会と公民館等との連携支援
- ・ハイキングイベントの企画・実施の支援
- ・広報活動

備考

東区内のハイキングコースの紹介(ぐるっと東区)



ハイキングイベント





## アクションプラン 取組シート (2020~2025)


項目番号 3-(3) 4-(1)-(オ)	具体的 な取組	「魅力と活力向上推進事業補助金」	担当課	地域起こし推進課																
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (3) 地域資源を生かした住民主体の活動の推進																				
事業目的・内容 平成11年度から、地域特性を生かした個性豊かで魅力あるまちづくりを推進することを目的として、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動に補助金を交付している。																				
○課題と対応 東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。																				
○指標 新規申請件数																				
○目標値																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">年度</td> <td style="width: 10%;">2020</td> <td style="width: 10%;">2021</td> <td style="width: 10%;">2022</td> <td style="width: 10%;">2023</td> <td style="width: 10%;">2024</td> <td style="width: 10%;">2025</td> <td style="width: 10%;">2030</td> </tr> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>4件以上 /年</td> <td>4件以上 /年</td> <td>4件以上 /年</td> <td>4件以上 /年</td> <td>4件以上 /年</td> <td>4件以上 /年</td> <td>4件以上 /年</td> </tr> </table>					年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030	年度毎の 目標値	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030													
年度毎の 目標値	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年	4件以上 /年													
○目標値の考え方 2019年度までの過去7か年の新規申請件数が平均3.1件、2019年度新規申請件数が4件であることを踏まえ、今後も、毎年度4件以上の新規申請件数を目指す。																				
今後の取組(具体的な役割)																				
【地域等】3人以上で構成される団体 ・新たな取り組みの検討・実施			【区】地域起こし推進課 ・補助金の交付 ・申請手続きの支援 ・新たな取組への相談・助言 ・制度の周知を図るための新たな広報手段の検討																	
備考																				
「魅力と活力向上推進事業補助金」を活用した取り組み  やが和太鼓クラブの育成			二葉の里 和奏光夜エキキタウォーク																	
																				



## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(4)-(ア)	具体的な取組	健康づくりに取り組む若者を育てよう！	担当課	地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり							
事業目的・内容 若い世代に対する健康づくり・健全な食生活の実践等に関する普及啓発を目的として、平成 22 年度から大学との包括的な連携のもと、大学祭で健康展（朝食・野菜摂取に関する展示、レシピ紹介等）を開催している。							
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。							
○指標 健康展の出展回数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
○目標値の考え方 これまで広島女学院大学、比治山大学を隔年で実施していた。2020 年度からは両大学の大学祭において健康展を出展するため、年2回とした。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】広島女学院大学（管理栄養学科）、比治山大学（管理栄養学科）	【区】地域支えあい課						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康展の企画、運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康展の企画、運営</li> <li>・健康づくり講演会の開催</li> </ul>						
備考							
健康展での展示							
							



## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(4)-(イ)	具体的な取組	命の大切さや思いやりの心を育もう！	担当課	地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 3.地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり							
事業目的・内容 大学生が乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやり心を育むことを目的に、常設子育てオープンスペースにおいて、大学生と親子がふれあい、交流できるイベントを実施する。							
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。							
○指標 大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催件数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
○目標値の考え方 年1回、継続的に開催する。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】比治山大学・比治山大学短期大学部			【区】地域支えあい課				
・イベントの企画・運営			・大学と常設オープンスペースとの開催調整 ・ちらしの作成・参加者へのPR				
備考							
<p>常設オープンスペース「ぼっぼひがし」のイベントで、比治山大学の学生が遊びを提供</p> 							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(5)-(ア)	具体的な取組	地元のトップアスリートを応援しよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実							
事業目的・内容 東区を拠点に活動する女子ハンドボールチーム「イズミメイプルレッズ」を応援することを通じて、区民がスポーツに親しむことを目的として、平成 28 年度から年 1 回、東区応援団を結成して試合の応援を行うとともに、区役所ロビーでの応援パネル展を行っている。							
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。							
○指標 東区応援団への参加者数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	100 人	110 人	120 人	130 人	140 人	150 人	200 人
○目標値の考え方 2019 年度実績が 90 人であったため、2020 年度目標を 100 人とし、学区体育協会など各種団体への働き掛けにより、毎年度 10 人ずつ参加者を増やす。							
今後の取組<具体的な役割>							
【地域等】イズミメイプルレッズ、学区体育協会等		【区】地域起こし推進課、東区スポーツセンター					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手の地域行事参加</li> <li>・ハンドボール教室の開催</li> <li>・東区応援団への参加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イズミメイプルレッズと地域との連携支援</li> <li>・東区応援団の企画・実施</li> <li>・応援パネル展の実施、広報活動</li> </ul>					
備考							
区民による試合応援		区役所ロビー応援パネル展					
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(5)-(イ)	具体的な取組	高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実							
事業目的・内容 区民の生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を支援することを目的として、学区体育協会、区スポーツ推進委員協議会、東区スポーツセンター等が協働して年3回（5月、10月、12月）、区内の小中学生や地域住民を対象にニュースポーツを体験するイベントを開催している。							
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。							
○指標 ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	3回	3回	3回	3回	3回	3回	3回
○目標値の考え方 2019年度まで毎年3回継続開催しており、2020年以降も毎年3回継続して実施する。							
今後の取組＜具体的な役割＞							
【地域等】学区体育協会、区スポーツ推進委員協議会等		【区】地域起こし推進課、東区スポーツセンター・牛田公民館					
・イベントの企画・実施		・イベントの企画・実施 ・広報活動の支援					
備考							
東区ニュースポーツ（室内雪合戦）交流会							
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(6) 4-(2)	具体的 な取組	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (6) 都心に近い農業地域の活力向上							
事業目的・内容 東区の新鮮な野菜等の特産品を販売するイベントを開催することにより、農業の振興と、来訪者と区民や区民相互の交流を促進することを目的に、平成16年8月から、毎週木曜日に東区民文化センターにおいて「木曜であい市」を開催している。							
○課題と対応 「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。							
○指標 年間来場者数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の 目標値	4,000人	4,050人	4,100人	4,150人	4,200人	4,250人	4,500人
○目標値の考え方 2018年度までの過去3年間で1回の来場者が103人から80人に減少しているため、2020年度の目標を4,000人(1回80人×年50週)と設定し、毎年50人ずつ(毎回1人ずつ)来場者を増やす。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】東区ふれあいもてなし市協議会			【区】地域起こし推進課				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区産の地元野菜の販売</li> <li>・木曜であい市の生産者加入促進</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曜であい市の広報</li> <li>・木曜であい市の円滑な運営支援</li> </ul>				
備考							
			<p>「木曜であい市」</p> 				



## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 3-(7)	具体的な取組	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (7) 地域の魅力の継承							
事業目的・内容 東区では、地域の魅力を子どもたちに伝えていくため、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会（牛田小学校、尾長小学校）、東区緑のボランティアの会（尾長小学校）、東区ふれあひもてなし市協議会（矢賀小学校）の3者が講師となり、地域の歴史や自然、農業などの学習を支援している。							
○課題と対応 子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。							
○指標 3者が学習支援を実施する学校等の数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	4校/年	5校/年	5校/年	6校/年	6校/年	7校/年	9校/年
○目標値の考え方 2019年度は3者が4校で学習支援を行っており、2025年度に3者が各1校ずつ増やし7校にすることし、2年ごとに1校ずつ増やすことを目標とする。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会、東区緑のボランティアの会、東区ふれあひもてなし市協議会			【区】地域起こし推進課				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学習支援</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師と学校との連絡調整</li> <li>・学校への事業紹介</li> </ul>				
備考							
歴史のボランティアの学習支援	緑のボランティアの学習支援		ふれあひもてなし市協議会の学習支援				
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 4-(1)-(ア)	具体的な取組	「エキキターレ」をエキキタのにぎわい広場として盛り上げよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり							
事業目的・内容 JR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）では、地元企業や住民団体、東区役所によって、平成27年に「エキキタまちづくり会議」が設立され、その後、様々な取組を継続して実施している。 平成31年3月には、広島市が創設した「エリアマネジメント活動計画認定制度」の第1号として「エキキタエリアマネジメント活動計画」が認定された。これにより、エキキターレ（有効空地）及び二葉の里第三公園（街区公園）における規制緩和が認められたことから、これらを活用して自主財源を確保しながら、産官学民の協働・連携により、エキキタが一体となった持続可能なまちづくりを進めている。							
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。							
○指標 イベント等でのエキキターレの利用日数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	30日 /年	40日 /年	55日 /年	70日 /年	85日 /年	100日 /年	150日 /年
○目標値の考え方 2019年度の利用実績（見込み）30日を踏まえ、2025年度には、100日の利用（年間を通して週末にはイベント等が行われている状況）を目指し、利用日数を増やす。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】エキキタまちづくり会議			【区】地域起こし推進課				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用機会を増やすための広報・誘致活動</li> <li>・にぎわいづくりイベント等の企画及び実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用機会を増やすための広報・誘致活動</li> <li>・イベント実施及び行政等への申請手続きの支援</li> </ul>				
備考							
エキキターレでのイベント			イベント時のステージ周辺				
							

## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 4-(1)-(イ)	具体的な取組	「エキキタ・ドリミネーション」を、エキキタのインスタスポットに育てよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口である JR 広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり							
事業目的・内容 広島の新たな観光スポットとして、多くの方々にエキキタに足を運んでいただき、賑わいの創出を図ることを目的として、平成28年度から、「エキキタ・イルミネーション」として周辺企業・店舗と協働でイルミネーションイベントを実施している。平成30年度からは、「ひろしまドリミネーション」のサテライトエリアとして広島駅周辺地区まちづくり協議会とも連携し、「エキキタ・ドリミネーション」として開催し、周辺地域一体となった魅力発信を行っている。							
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。							
○指標 参加企業・店舗数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	25 企業・店舗	26 企業・店舗	27 企業・店舗	28 企業・店舗	29 企業・店舗	30 企業・店舗	35 企業・店舗
○目標値の考え方 2018 年度に 23 企業・店舗、2019 年度に 20 企業・店舗の参加実績があり、2025 年度の 30 企業・店舗を目標として、毎年、新規参加店舗・企業を増やす。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】エキキタまちづくり会議			【区】地域起こし推進課				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エキキタ・ドリミネーションの実施</li> <li>・参加企業・店舗の拡大に向けた取組</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の広報紙や SNS 等による広報</li> <li>・新たにエキキタエリアへ進出する企業や店舗への参加依頼等、企業・店舗数の拡大に向けた取組</li> <li>・行政等への申請手続きの支援</li> </ul>				
備考							
広島駅新幹線口周辺でのドリミネーション			広島駅新幹線口ペDESTロリアンデッキでのドリミネーション				
							



## アクションプラン 取組シート (2020~2025)

項目番号 4-(3)	具体的な取組	東区を花でいっぱいにしよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (3) 公共空間（公園等）を活用した花づくり							
事業目的・内容 東区を花でいっぱいの潤いのあるまちにしていくことを目的に、平成25年度から3人以上で構成する花づくり団体へ、花づくりに必要な物品を提供し、安定して活動が継続できるよう支援している。							
○課題と対応 花づくりを行える公園等の公共用地で、まだ活用されていない場所が見受けられるため、支援制度の広報に力を入れ、活動を充実・強化する。							
○指標 花づくり活動団体数							
○目標値							
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2030
年度毎の目標値	42団体	43団体	45団体	47団体	49団体	50団体	55団体
○目標値の考え方 2019年度実績が40団体であるため、2020年度目標を42団体とし毎年1~2団体の増加を目指す。							
今後の取組(具体的な役割)							
【地域等】花づくり団体			【区】地域起こし推進課				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区内公共用地等での花づくり</li> <li>・花づくり団体への新規参加者の拡大に向けた取組</li> <li>・団体内での技術の共有等、継続的な活動とするための取組</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・花づくりに必要な資材等の提供</li> <li>・新規花づくり団体を増やすための方策について検討</li> <li>・スキルアップのための講習会の企画・実施</li> </ul>				
備考							
花づくり団体を対象とした講習会			花づくり団体による地域の花壇				
							